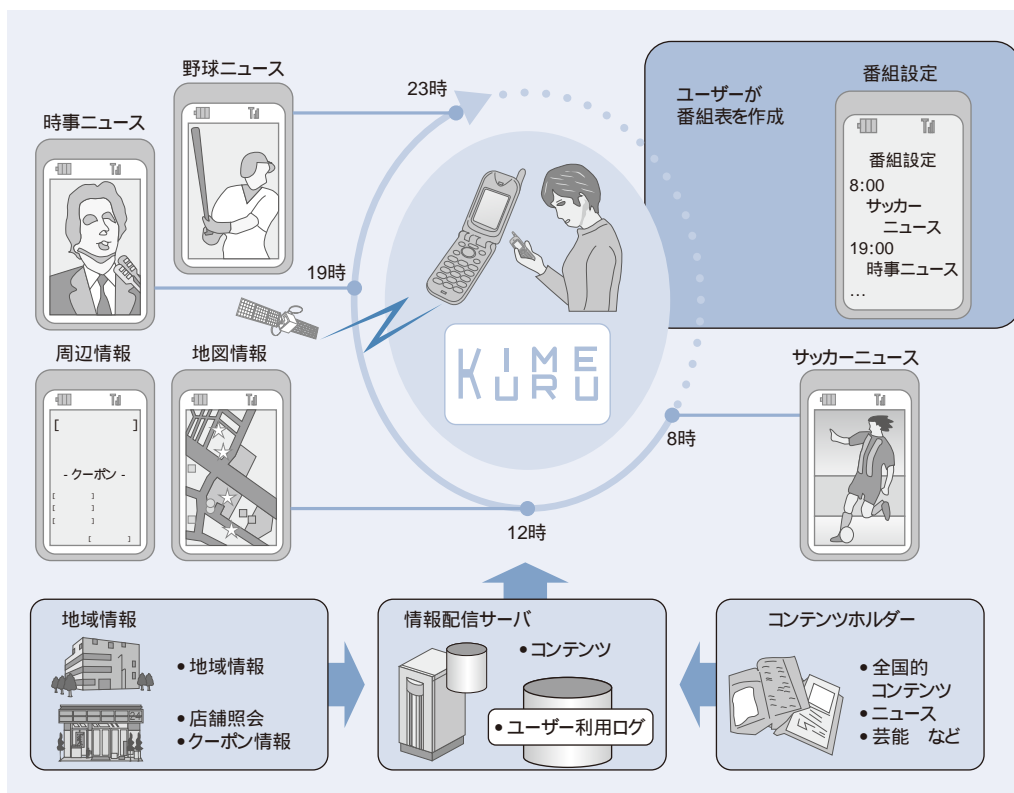


# 携帯電話の待ち受け画面への快適な情報配信サービス「キメクル」

## Comfortable Information Delivery Service "KIMEKURU" to Standby Displays of Mobile Phones

奥田 透 Tôru Okuda  
中澤 秀夫 Hideo Nakazawa

西村 義秀 Yoshihide Nishimura  
田邊 麻里 Mari Tanabe



注：\*「キメクル」は、現在特許出願中（特開 2004-252498号他）である。

携帯電話の待ち受け画面への情報配信サービス「キメクル」のサービスイメージ  
「キメクル」のサービスイメージを示す。「キメクル」は、ユーザーが求める情報を希望する時間、場所で携帯電話の待ち受け画面に配信する情報配信サービスである。

第3世代携帯電話の進出に伴い、携帯電話のパケット通信定額制契約者数は増加すると考えられる。日立製作所は、このような状況に対応するために、パケット通信定額制契約ユーザー向け情報配信サービスとして「キメクル」を開発した。

「キメクル」は、フリークーポンの持つ経済的利得感や地域性、テレビの持つ楽しさや手軽さ、インターネット情報の持つリアルタイム性を兼ね備えた情報配信サービスである。「キメクル」で提供するコンテンツ一覧から、ユーザー自身が求める情報をあらかじめ設定す

ることにより、希望する時間やユーザーの現在地に応じて、携帯電話の待ち受け画面として配信する。ユーザーには手軽な閲覧環境を、コンテンツ提供者・広告スポンサーには簡易な配信・登録環境をそれぞれ提供するものである。

「キメクル」を実用化するにあたり、2004年12月に東京のJR新宿駅と吉祥寺駅周辺で実施したモニタ実験でビジネス性を検証し、その結果を踏まえた改善によってビジネス展開を進めている。

### 1 はじめに

通信速度が速く、高品質のマルチメディアコンテンツが配信

できる第3世代携帯電話の契約者数は増えており、さらに増加することが見込まれている。第3世代携帯電話の特徴を生かすためには、料金を気にすることなく、さまざまなコンテンツに気軽にアクセスできることが必要である。これにより、携帯電話の

パケット通信定額制契約者も増加すると予測され、それに伴い、今後は、いっそう充実した携帯電話への情報配信サービスが求められてくるものと考える。

日立製作所は、通信事業者が提供する携帯電話のデータ通信定額料金サービスの本格化を先見し、希望の時間に、ユーザーが求めるニュースや、交通機関での雑誌の中づり広告などのジャンル情報を、携帯電話の待ち受け画面として自動配信する情報配信サービスを2003年5月に開発した。決めた時間に携帯電話の待ち受け画面に情報が来ることから、このサービスを「キメクル」と命名したものである。開発後の実証実験で、ユーザーの利用場面や閲覧率などを調査してきた結果、時間による情報配信については顧客満足度が高いこと、ユーザーの現在地に応じた情報提供にニーズが高いことなどがわかった。2004年12月には、それらのニーズを踏まえ、時間だけでなく場所も含めた情報配信サービスとして、ユーザーの現在地を中心とした周辺情報を提供し、地図上に表示された店舗を選択することにより、クーポン広告をダウンロードすることができる機能を追加してモニタ実験を実施した<sup>1)</sup>。

ここでは、「キメクル」のサービスイメージ、特徴、およびモニタ実験を踏まえた今後の取り組みについて述べる。

## 2 サービスの概要

「キメクル」は、時間を軸とした情報配信と、地域を軸とした情報配信から構成する。

### 2.1 時間を軸とした情報配信

「キメクル」で提供するコンテンツ一覧から、ユーザー自身があらかじめ時間とジャンルを設定することにより、希望する時間に写真画像を起点とした情報を携帯電話の待ち受け画面に配信する。

ユーザー自身が設定した時間に希望する情報を携帯電話の待ち受け画面に自動配信するので、ユーザーは、通勤・通学途中などの生活動線に合わせて待ち受け画面を眺めるだけで情報を閲覧することができる(図1参照)。

### 2.2 地域を軸とした情報配信

現在地やユーザーが選択したランドマークの周辺地図を表示するとともに、周辺の地域情報、クーポン情報を携帯電話の待ち受け画面に配信する。

タイムセールスなど、リアルタイムな情報を店舗側から登録することができるため、ユーザーは、このような情報にすばやくアクセスすることができる。

## 3 サービスの特徴

「キメクル」ではコンテンツ提供者から登録されるコンテンツをユーザーがあらかじめ設定した時間、属性などに応じて配信する。このため、ユーザーには手軽な閲覧環境を、コンテンツ提供者・広告スポンサーには簡易な配信・登録環境をそれぞれ提供することができる(図2参照)。

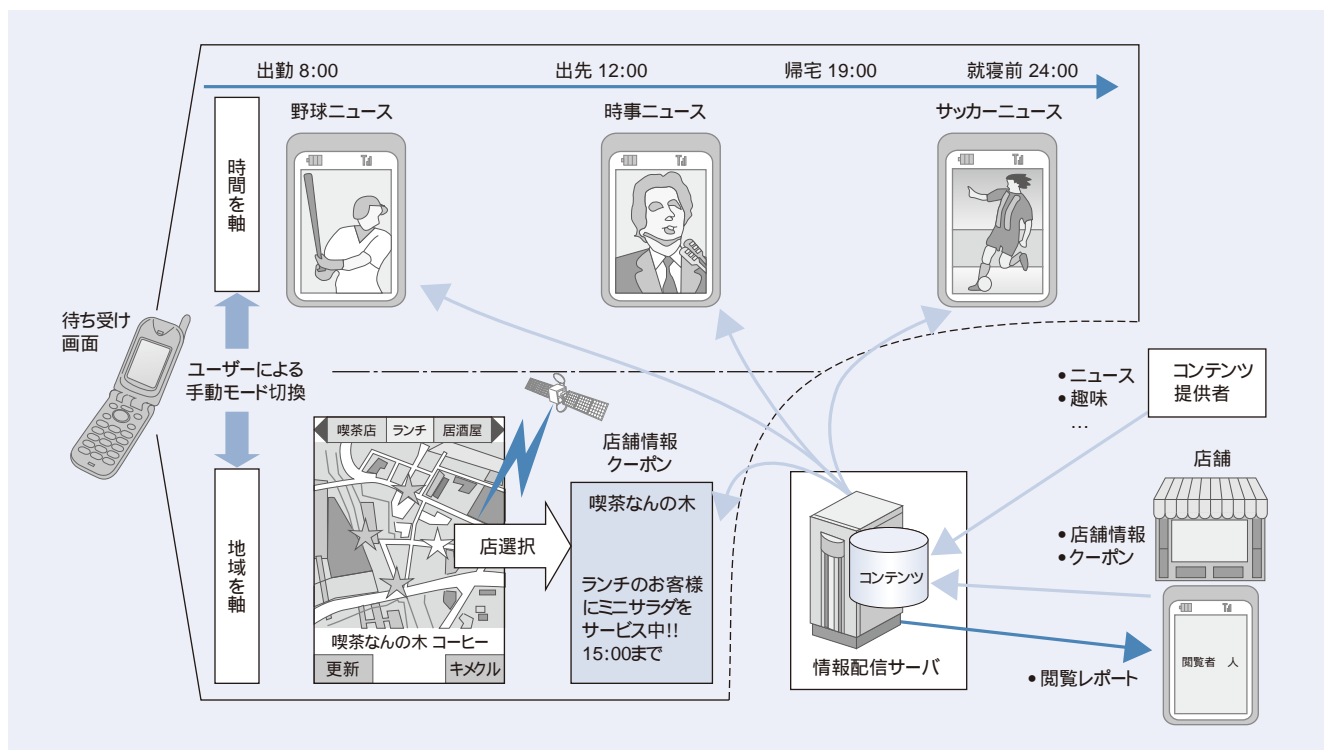


図1「キメクル」のサービス概要

「キメクル」は、時間を軸とした情報配信と、地域を軸とした情報配信から構成する。

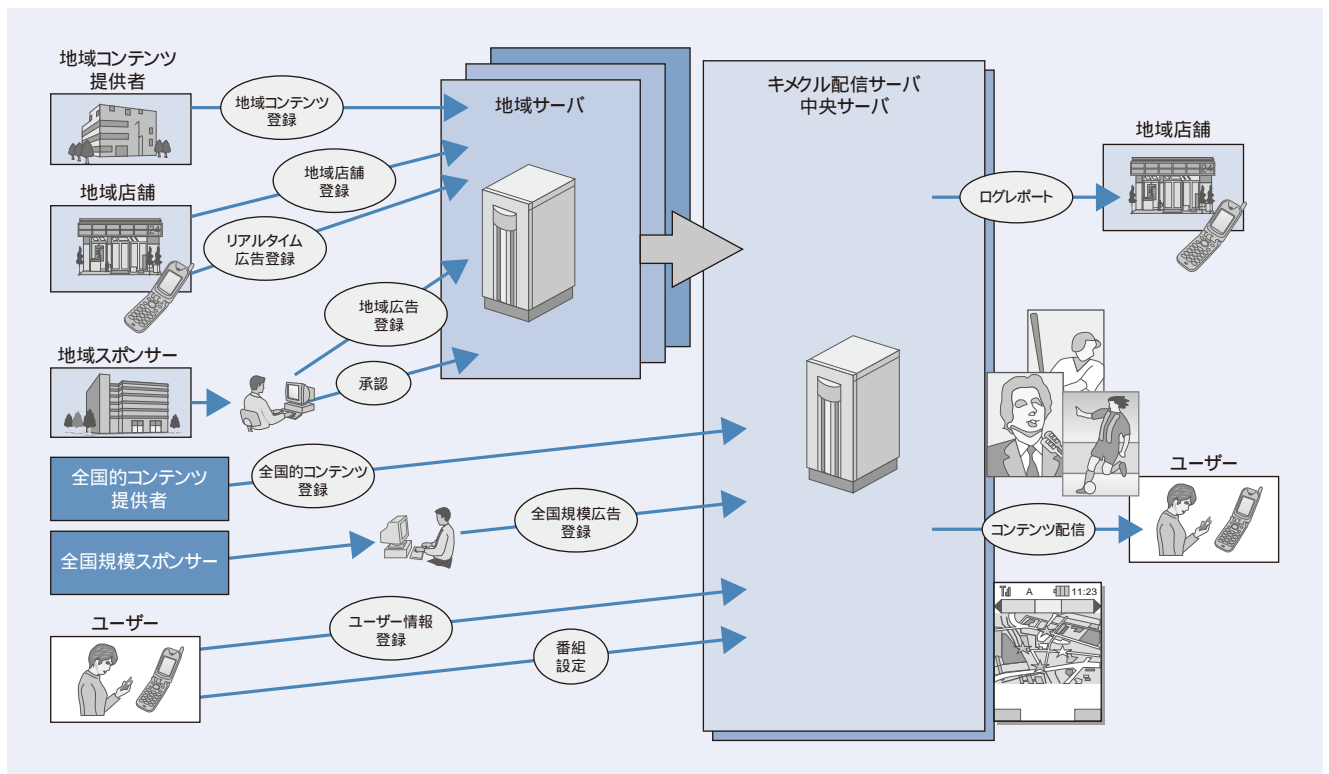


図2「キメクル」のシステム概要

ユーザー自身があらかじめ設定した時間、ジャンルを自動配信する。コンテンツ提供者が登録した画像・テキストをユーザーが希望する時間に配信する。

### 3.1 ユーザー向けの特徴

ユーザーが求める情報を、希望する時間、場所で携帯電話の待ち受け画面に配信することにより、手軽な閲覧環境を提供する。

#### (1) ユビキタス携帯マガジン

ユーザーが好みのジャンルと閲覧時間をあらかじめ設定することにより、ユーザー自身が待ち受け画面を編集できる。

#### (2) 地域に特化した情報閲覧

ユーザーの現在地、選択したランドマークを中心とした地図上に地域情報、クーポン情報を表示することにより、ユーザーが求める、得をする情報にすばやくアクセスすることができる。

### 3.2 コンテンツ提供者向けの特徴

ユーザーへの配信スケジュールの管理など、コンテンツ提供者に簡易な配信・登録環境を提供する。

#### (1) ユーザー属性に合わせた情報配信

会員登録制によってユーザーの属性を把握するため、属性に応じたお勧め情報などを提供することができる。また、ユーザーのコンテンツ閲覧ログを基にし、ユーザーがいつそう楽しめるようなコンテンツのフィードバックができる。

#### (2) 番組情報の登録

静止画像やテキストなどの情報を登録するだけで、携帯電話に配信可能となる。新たにコンテンツを作り直す必要がないので、既存のコンテンツ資源が利用できる。さらに、待ち受け画面に表示された画像などのコンテンツはコピーすることがで

きないため、ユーザーによる不正な二次利用などのトラブルが回避できる。

#### (3) 地域情報の登録

ログレポートを参考にして、タイムセールスなどの情報を携帯電話やパソコンからリアルタイムに登録できる。そのため、曜日や時間に応じて配信する情報を変更することにより、そのときの状況に応じて柔軟に情報を提供することができる。また、登録情報の承認タイミングを設けることにより、情報の品質を高めることができる。

### 3.3 広告スポンサー向けの特徴

ユーザー属性に合わせた配信管理など、広告スポンサーに効率的な広告配信環境を提供する。

#### (1) ユーザー属性に合わせた広告配信

会員登録制であることから、ユーザーの性別や年代といった属性を把握し、属性に合わせたお勧め情報などが提供できる。また、配信時間を設定することにより、広告効果の大きい時間帯に配信することができる。

#### (2) 広告閲覧ログのレポート

テレビや雑誌に出す広告と異なり、広告スポンサーは、実際にどれくらいの人が見ているのか、また、画像や記事などの階層的な情報閲覧により、興味を持ったユーザーはどのような属性を持っているのかといった詳細な情報を把握することができる。

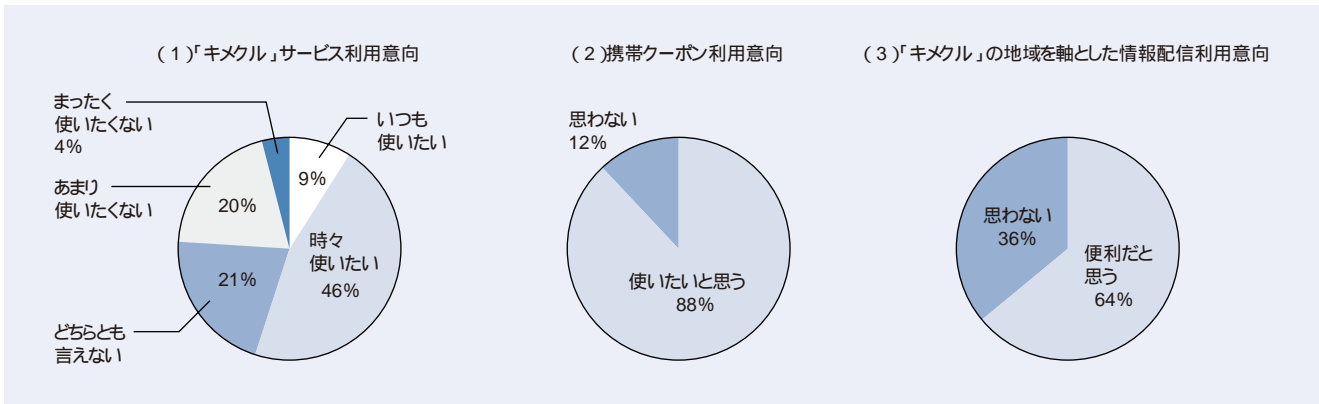


図3 モニタ実験の結果

2004年12月に実施したモニタ実験結果により、「キメクル」サービスは過半数を超えるユーザーに支持された。

## 4 今後の展望

### 4.1 モニタ実験結果

「キメクル」の実用化に向け、2004年12月に東京のJR新宿駅と吉祥寺駅周辺で300人を対象にモニタ実験を実施した。

この実験では、時間を軸にした情報として時事・スポーツなどのニュース系コンテンツを中心に、地域を軸にした情報としては新宿駅・吉祥寺駅周辺の商店会を中心にしたクーポン情報を配信した。実験の結果、「キメクル」サービスは、「いつも使いたい」が9%、「時々使いたい」が46%で、過半数の支持を得た。また、携帯クーポンは約90%が支持していることがわかった。「キメクル」の地域を軸とした情報配信の利用意向は約60%にとどまったものの、実験結果をフィードバックした機能改善により、このギャップを埋める余地が大きいと考える(図3参照)。

### 4.2 今後の取り組み

モニタ実験によって、(1)地図上での情報閲覧の操作性向上、(2)ユーザーの生活形態に合わせた呼量集中への対応、(3)携帯電話の電池消耗への対応など、改善すべき課

題が明確になった。それらの課題を解決することにより、機能の改善・向上を進めていく。

また、地域コンテンツの提供などでは、地域パートナーと協業し、地域情報の提供対象地域を拡大していくとともに、提携戦略やパートナー戦略の強化を図っていく考えである。

## 5 おわりに

ここでは、「キメクル」のサービスイメージ、特徴、およびモニタ実験を踏まえた今後の取り組みについて述べた。

日立製作所は、今後も、「キメクル」の実用化に向けて2004年12月に実施したモニタ実験の結果をフィードバックし、プラットフォーム事業とサービス事業の両面でのビジネス展開に取り組んでいく。

### 参考文献など

- 1)日立製作所ニュースリリース、  
<http://www.hitachi.co.jp/New/cnews/month/2004/11/1115.html>
- 2)総務省 情報通信統計データベース、  
<http://www.johotsusintokei.soumu.go.jp/>
- 3)モバイル・コンテンツ・フォーラム監修：ケータイ白書2005(2004.12)

## 執筆者紹介



奥田 透

1978年日立製作所入社、情報・通信グループ ネットワークソリューション事業部 ソリューション本部 ソリューション第一部 所属  
現在、「キメクル」のシステム開発に従事  
E-mail: to-okuda@itg.hitachi.co.jp



西村 義秀

1994年日立製作所入社、情報・通信グループ ネットワークソリューション事業部 ソリューション本部 キメクル事業推進センター 所属  
現在、「キメクル」のサービス事業化に従事  
E-mail: yo-nishimura@itg.hitachi.co.jp



中澤 秀夫

1984年日立製作所入社、情報・通信グループ ネットワークソリューション事業部 ソリューション本部 キメクル事業推進センター 所属  
現在、「キメクル」のサービス事業化に従事  
E-mail: h-nakazawa@itg.hitachi.co.jp



田邊 麻里

1989年日立製作所入社、情報・通信グループ ネットワークソリューション事業部 ソリューション本部 ソリューション第一部 所属  
現在、「キメクル」のシステム開発に従事  
E-mail: ma-tanabe@itg.hitachi.co.jp